

だからきつとそのごっこ遊びは臨也にとつて彼が想像するほどは愉しくないはずだ。白々しい気分になるだろう。それらを総合して考えると、バイトは続いても一ヶ月がぜいせいだろう。

長くても一ヶ月の短期アルバイト。バイト代は高額。

— そう思つてしまえば、たとえ内容が『恋人ごっこ』だとしても割り切ることも可能だ。そう結論が出て帝人は臨也に向かつて頭を下げた。

「よろしくお願いします」

その言葉に、臨也は笑う。愉しそうに。

（この人、本当にねじ曲がつてるなあ）

— そう思つたけれど、やはり言葉には出さない。
女性なら見とれるだろう笑みを浮かべながら、臨也も言つた。

「うん。こちらこそよろしく」

つまりは、それが始まりの合図だった。